

## 音楽特区をつくる

### 企画の柱

自由形式の音楽学校と、ミュージシャン専門の老人ホームをつくる。

それに付随するかたちで、町そのものをアマチュア音楽家および音楽ファンを対象として、劇場、ライブハウスなども備えたテーマパーク状にする

### 現状

- ・アマチュアミュージシャンが増加している（音楽は聴くものであるよりも、自ら演奏して楽しむものとなっている）
- ・自由業であるミュージシャンは社会保障を受けることなく、実力のあるプロが（国際派であっても）、生活に困窮している現状がある

### 流れ

- ・音楽学校（廃校などを利用して）を設立し、通常のカリキュラムに沿った授業と平行して、ワークショップ的な授業を誰でも随時受けられるようにする。いつでも誰でもプロミュージシャンとのセッションが可能な施設にする。
- ・講師は老人ホームに入居しているミュージシャンが主体
- ・老人ホームの手伝いをすれば授業料割引したり免除したりできる（老人ホームでもプロミュージシャンに接することになる。）
- ・ネットを利用した放送や、出版物で発信する。CD 出版なども。（自費出版にも対応して収入とする）
- ・老人ホームは、基本無料で入居できるようにする。費用は学校の収入から得る
- ・若い音楽家の留学・移住を奨励する。
- ・将来「老人ホーム」に入居を希望するミュージシャンを学校講師としての移住を奨励する。